

地域コミュニティとの 関係強化と積極的な 社会貢献

ISO26000
との関連

6.8 コミュニティへの参画および
コミュニティへの発展

SDGs
との関連



Materiality

アイチグループは、地域コミュニティとの共存共栄を目指しています。「良き企業市民」としての役割を自覚し、積極的な地域社会との関わりに加え、社会貢献活動などを通じたコミュニケーションを大切にしています。地域社会から信頼と事業活動への理解を得ていくことで「いつまでもこの地にあり続けてほしい」と思ってもらえる企業を目指します。

社会貢献活動

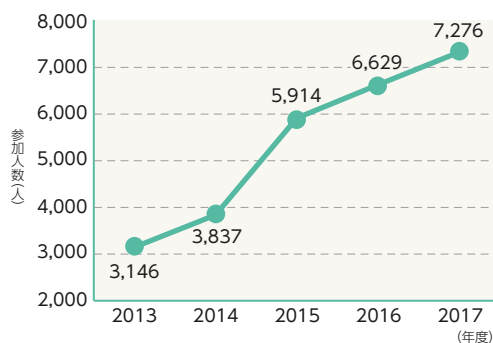
● 活動推進体制

当社は、地域社会との共存・共栄を目指して「クリーン」「グリーン」「クリエイティブ」「ボランティア支援」を4本柱として、地域と密着した活動を展開しています。

総務部内に設置する「ボランティアセンター」では、社員のボランティア活動を支援するために、関連の情報発信・啓発活動・相談を行うとともに、社員などが気軽に参画できる活動「ちよいボラ」を企画し、ボランティアの体験を応援しています。

2017年度は、自然共生活動の増加や、古本回収の新規開始、食堂での復興支援メニューの提供などで参加者が増え、昨年に比べ647名増の7,276名と、過去最高の参加人数となりました。

■ 社会貢献活動年間参加人数の推移(延べ人数)



2017年度参加者 **7,276名**
(前年比+647名)

クリーン(美化・安全・安心)

地域美化を目指した「会社近隣道路クリーン作戦」を隔月で実施しているほか、2009年から毎年10月の「CSR強調月間」に合わせて、「拡大クリーンアイチデー」を国内・海外の子会社を含めて開催しています。



会社近隣道路クリーン作戦

合計**5回** **125名**参加



拡大クリーンアイチデー

800名参加

グリーン(緑化・環境保全)

会社周辺地域の美化活動の一環として、当社本社の最寄り駅である名古屋鉄道聚楽園駅の駅前ロータリーにおいて、毎年2回、花の植え替えを技術学園生が行っています。



▲学園生による聚楽園駅前ロータリー植栽

クリエイティブ(教育・文化)

創立70周年である2010年より毎年、出張授業「鉄の教室」を開催しています。これは小学5年生を対象に、中部地区最大の鉄鋼基地である東海市の産業を学んでいただくもので、本年度9年目となります。小学生の皆さまに「磁石づくり」を通して、モノづくりの楽しさを経験していただいています。



実施回数

12校36学級

交通安全啓発

アイチグループはクルマに関わる企業の責任として、交通安全啓発活動を推進しています。その一つとして、毎月「ゼロの日」の立哨活動を、各拠点で継続実施しています。



2,325名参加

ボランティア支援



1993年に設置し活動を続けている「愛知製鋼ボランティア基金」は、地元の社会福祉法人などへの寄付や、熊本地震などへの被災地支援を継続して行っています。また、社員が自主的・継続的に参加できるしくみとして、毎月100円を給与天引きによって募金する「ワンコイン募金」の実施など、全社員でボランティア活動を推進しています。

2017年度は新たな取り組みとして、障がい者福祉施設の活動支援として、「古本・CD・DVD」の回収BOXを社内4箇所に設置しました。また、被災地支援の新たな取り組みとして、食堂での復興支援メニューの提供を行いました。

ワンコイン募金

参加者544名

被災地支援

東日本大震災、熊本地震、九州豪雨などへの被災地支援の取り組みとして、工場のふれあいイベント等で、地元物産の販売による支援活動や、毎年継続している復興支援物品収集活動も実施しました。



▲食堂での復興支援メニュー提供
岩手県「湯田牛乳公社」さんのヨーグルト使用

◀社内イベントで物産品販売

「古本・CD・DVD」リサイクル

障がい者福祉施設の活動支援として、回収を開始しました。回収した古本は、障がい者の方が整備し、リサイクル販売され、障がい者の方々の報酬となります。



▲「古本・CD・DVD」回収BOX

地域との交流

● イベントの実施・参画

東海市と刈谷市にて地域懇談会をそれぞれ年1回実施し、地域住民の方と交流を図るとともに、さまざまな地域貢献活動へ積極的に参加しています。拠点所在地周辺のコミュニティなどのお祭りや運動会などの行事に対して活動を支援するとともに、社員などを派遣し運営をサポートしています。また、本社地区や工場のイベントに地域の方もお招きし、社員との交流を図っています。



◀地域懇談会



▶しあわせ村 もみじ祭りでの
親子創作教室運営支援